

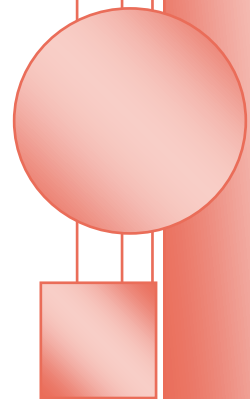
第116回教学高等講習会

◆日時 令和3年3月10日（水）午後1時30分から
12日（金）午後零時30分まで

◆会場 浄土宗教化研修会館大ホール
WEB受講（Zoom使用）



法然上人
浄土宗
開宗850年
お念佛からはじまる幸せ
令和6年



3月10日(水)

日程	教化研修会館	WEB
13:00	受付	Zoom入室(マイクオフ、ビデオオン)
13:30	開講式	
13:45	講義 小此木輝之	チャットに返信し受講確認 (休憩中退室しない)
14:45	休憩	
15:00	講義 小此木輝之	
16:00	第1日目終了	受付で受講証を受け取る 退室

3月11日(木)

日程	教化研修会館	WEB
9:30	受付	Zoom入室(マイクオフ、ビデオオン)
10:00	講義 南宏信	チャットに返信し受講確認 (休憩中退室しない)
11:00	休憩	
11:15	講義 南宏信	
12:15	昼食休憩	自席で持込み、又は会館外 (退室しない)
14:00	講義 伊藤真昭	チャットに返信し受講確認 (休憩中退室しない)
15:00	休憩	
15:15	講義 伊藤真昭	
16:15	第2日目終了	受付で受講証を受け取る 退室

3月12日(金)

日程	教化研修会館	WEB
9:30	受付	Zoom入室(マイクオフ、ビデオオン)
10:00	講義 吉田淳雄	チャットに返信し受講確認 (休憩中退室しない)
11:00	休憩	
11:15	講義 吉田淳雄	
12:15	閉講式	
12:30	全日程終了	受付で受講証を受け取る 退室

注意事項

【来庁・WEB共通】

- 改良服又は伝道服に伝道袈裟被着ください。
- 半日を1単位として、2日間3単位で修了となります。
- 不正であると思われる行為を発見した場合には、全ての受講を取り消します。

【来庁の方】

- 受講証をご持参ください。また、両日必ずお持ち帰りください。
お持ち帰りでない場合については、その日全ての講義を欠席とみなす場合があります。
- 各講義開始 15分を超える遅刻および早退は、受講認定いたしませんのでご注意ください。
- 受講者本人以外の受講証の持ち帰り・持ち出しは一切禁止いたします。
- 日程終了前にお帰りの場合は、必ず係員にお申し付けください。
- 自家用車での来館は一切禁止します。公共の交通機関をご利用ください。
- 教化研修会館及び近隣関係施設に、食事を提供できる関係施設はありません。昼食は、外部の飲食店を利用するなど各自でお手配ください。

【WEBの方】

- 受講確認は、講義中、不定期に要求するチャット機能で行います。お持ちの端末の操作方法を充分確認して臨んでください。
- 配信不良等の不具合含め、当方で受講が確認できなかった場合は理由如何によらず受講認定いたしかねます。
- 講義資料については予め出力してください。
- 受講証は当方で確認・押印の後、送付いたします。

講題・講師プロフィール

3月10日（水）

大正大学名誉教授・浄土宗教学院理事

「国家仏教と法然浄土教」

小此木 輝之

◆講義概要

国家（こつけ）は天皇家を意味する。古代国家は天皇家を中心に機能し、仏教はそれを守護した。しかし、法然上人の仏教は天皇家の護持や国家行事の遂行よりも、個人がいかにかに念仏を唱え、いかに往生するかということに力点が置かれた。古代以来の神仏習合の仏教を信奉した皇族・貴族にとって、法然上人の「専修念仏」はどのように認識されたか。また法然上人はそれにどのように対応し、弟子たちはどのように理解したか、具体的に話してみたい。

◆プロフィール

昭和50年 大正大学大学院文学研究科博士後期課程修了 後に文学博士（大正大学）
昭和56年 大正大学道心寮々監 浄土宗々侶養成（昭和62年まで）
平成14年 大正大学歴史学科教授
この間、日本史教務主任、同副学科長、大学院史学副専攻長等を歴任
平成22年 大正大学文学部長（平成25年まで）
平成25年 大正大学大学院文学研究科長（平成27年まで）
平成28年 大正大学名誉教授（現在）
地域文化財審議委員等
（著書等）
大本山増上寺史 増上寺資料集 長楽寺文書 安楽律院資料集1～3
平成新修福田行誠上人全集1～8 中世寺院と関東武士 群馬県史等地方史（ほか）
（学術論文）
法然門下における関東武士 嘉禄の法難と関東浄土教の展開 大胡消息と大胡氏 学信の社会事業について 板碑と念仏思想 福田行誠の社会福祉について 増上寺寺領支配について
（ほか多数）

3月11日（木）

佛教大学任期付専任講師・

総本山知恩院知恩院浄土宗学研究所嘱託研究員

「法然上人における「八種選択義」の淵源—「選択我名」を中心に—

南 宏信

◆講義概要

「八種選択義」とは法然上人が『選択集』第十六章において「浄土三部経」と『般舟三昧経』を根拠として導出する概念である。称名念仏が弥陀・釈迦・諸仏同心の「選択」であることを称揚するのだが、なかでも『般舟三昧経』から導出される「選択我名」を中心に考察していく。その結果、「八種選択義」の八種のうち七種までが『往生要集』を淵源としていることを明らかにする。

◆プロフィール

1979年京都生まれ。佛教大学文学部仏教学科卒業、同大学院博士（文学）取得。浄土宗大光寺副住職、知恩院浄土宗学研究所嘱託研究員、佛教大学文学部専任講師など。

「増上寺学寮無為窟で学ぶ人びと — 増上寺・知恩院・近江水口大徳寺の 史料から —」

東京大学史料編纂所共同研究員・
龍谷大学非常勤講師

伊藤 真昭

◆講義概要

江戸時代の浄土宗で僧侶資格を取るためには、増上寺を始めとする関東十八檀林のどこ

かの学寮に所属しなければならなかった。筆頭檀林の増上寺には三千大衆といわれる多くの所化が学び、およそ八十余の学寮があったことが『縁山志』に記されている。現在でいえば談林は大学、学寮はゼミになろう。

ここでは増上寺の無為窟という学寮を取り上げ、増上寺、知恩院、そして近江水口大徳

寺に残された史料から、先生（寮主）とゼミ生（所化）の関係、さらには出身寺院との関

係をみていきたい。

◆プロフィール

1967年生まれ 大阪大学博士（文学） 滋賀教区甲賀組善隆寺住職の傍ら、織豊政権の寺社政策、中近世浄土宗史を研究。主編著に『京都の寺社と豊臣政権』（法蔵館）、『相国寺蔵西笑和尚文案』（思文閣出版）など。

3月12日（金）

「諸行本願義の人師たち — 非法然系の浄土教 —」

浄土宗教学院主事・大正大学非常勤講師

吉田 淳雄

◆講義概要

法然上人の出現により、日本浄土教は大きな画期を迎え、その門流はいくつもの流派に分かれながら大きく教線を伸ばした。しかし東大寺凝然の『浄土法門源流章』に少なからぬ「非法然系」浄土教者が列挙されるなど、必ずしも法然系の浄土教一色に染まったわけではない。本講義では、こうした「非法然系」および覚明房長西を祖とする九品寺流諸行本願義の人師に注目し、鎌倉時代以降の日本浄土教の実態について、その一端を明らかにしたい。

◆プロフィール

1974年2月生まれ。大正大学仏教学部仏教学科卒業、大正大学大学院博士後期課程文学研究科仏教学専攻（浄土学）満期退学。

現在、浄土宗総合研究所研究員、千葉教区君津組松翁院住職。

<著作>

『いのちの倫理』（総研叢書第5集、共著）

浄土宗総合研究所 2008/3/31

『いのちの選択に向きあうとき』（総研叢書第11集、共著）

浄土宗総合研究所 2020/3/31

<論文>

「出雲路の住心房覚愉について」

『大乘仏教と浄土教』（小澤教授記念論集）2015/10/9

「覚明房長西の修学過程」

『歴史と仏教』（宇高先生記念論集）2012/11/17

「『長西録』の成立年時について」

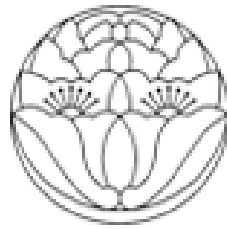
『中国浄土教とその展開』（金子教授記念論集）2011/5/28

「『念仏本願義』について」

『佛教学総合研究所紀要別冊 浄土教典籍の研究』2006/12/25

「『念仏三昧宝王論』流伝考 一附 現存諸本・註釈書紹介」

『念佛三昧寶王論の研究』ノンブル社 2009/9/30



浄土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination